

1 指導全体構想

1) 目指す生徒像 2) 学年目標(can-do) 3) 単元目標(can-do) 4) 指導のプロセス

2 単元の在り方

- ・ 目指す生徒像にとって必要なテーマの設定
- ・ 単元で扱う「本質的な問い」の設定
- ・ 4技能統合プロジェクト型
- ・ アウトプットタスクの設定
- ・ 個人指導の充実

3 指導のプロセスⅠ（教科書を学習する）

- 1) 語彙（新出キーワード語彙）の繰り返し
- 2) ラウンド制による事実関係の理解（全体→詳細）
- 3) 部分的 content 描写（英借文＋自分の言葉）
- 4) Q A（単語⇒1文⇒複数の文）
- 5) 内容の再現（日本語⇒コピーグロス⇒英語要約）

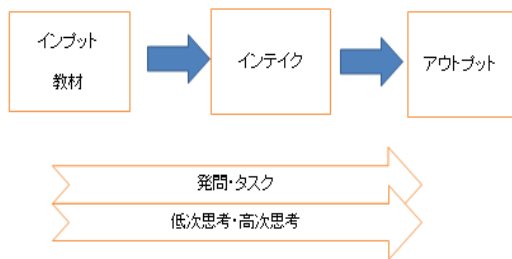
4 指導のプロセスⅡ（教科書を応用する）

- 1) 教科書の一部をそのまま再利用する。
- 2) 教科書の一部を言い換えて利用する。
- 3) 対話形式を報告文にする。
- 4) 教科書の本文を要約する。
- 5) 教科書の内容をもとに推測する。
- 6) 教科書に書かれている内容について意見を述べる。
- 7) 書かれている視点を変えて編集し直す
- 8) 教科書本文の続きを創作する。
- 9) 書かれていない情報を調べて発表する（プレゼンテーション）。

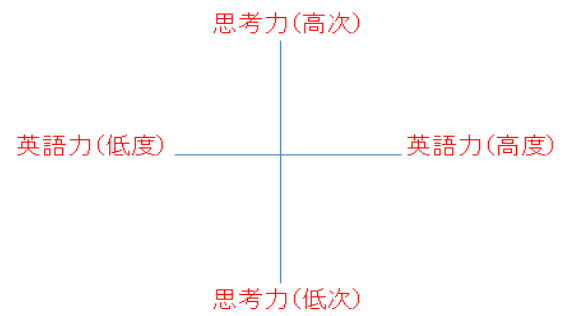
5 評価方法

- ・ CEFR や JS を参考に各技能の評価の枠組みを設定する。
- ・ 単元ごとの最終タスクに要求される技能（主に Writing と Speaking）の目標を設定する。
- ・ 同じタスク（例えば、内容理解の質問やサマリー等）を何度も設定する。
- ・ 正式な評価場面を設定せずに、授業で QA を行いながら常に、文字を見ないで生徒がどの程度英語で教師の質問に答えることができるかモニターする。
- ・ 授業内では時間が限られているので授業外で評価タスクに再挑戦させる。再挑戦する場合も減点はしないと告げ、時間をかけてもタスクが達成できたことを褒める姿勢を教師が持つ。
- ・ ペアやグループで役割を決めてタスクを行い評価は均等にする。優秀な生徒はこの評価法を不公平だと考える場合もあるが、長い目で見て、協力しながらクラス全体の英語力が伸びないと 1 人 1 人の英語力も伸びないことを説明する。

## 英語力・思考力と発問・タスク



## 発問の分類



## Lower-Order Thinking Skills (LOTS)

Lower-order thinking skills are used to understand the basic story line or literal meaning of a story, play, or poem.

This includes:

- Wh questions.
- teaching relevant lexical items.
- relating to grammatical structures when relevant.

## Higher-order Thinking Skills (HOTS)

Higher-order thinking skills are used to: interpret a text on a more abstract level. manipulate information and ideas in ways that transform their meaning and implications.

## Higher-order Thinking Skills (HOTS)

Predicting  
Applying  
Inferring  
Sequencing  
Identifying parts and whole  
Classifying  
Comparing and contrasting  
Explaining patterns

## Higher-order Thinking Skills (HOTS)

Explaining cause and effect  
Distinguishing different perspectives  
Problem solving  
Uncovering motives  
Generating possibilities  
Synthesizing  
Making connections  
Evaluating

## ワークショップ

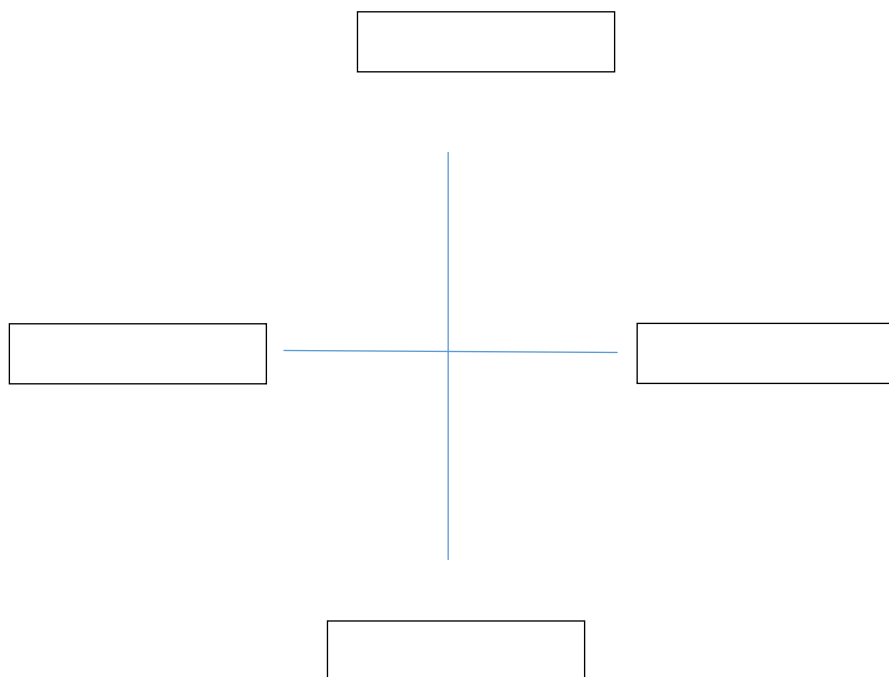
### 1 単元目標

- ①
- ②

### 2 発問（ランダムに） / 答え方（日本語 英語）

- ①答え方（日本語 英語）
- ②答え方（日本語 英語）
- ③答え方（日本語 英語）
- ④答え方（日本語 英語）
- ⑤答え方（日本語 英語）
- ⑥答え方（日本語 英語）
- ⑦答え方（日本語 英語）
- ⑧答え方（日本語 英語）
- ⑨答え方（日本語 英語）
- ⑩答え方（日本語 英語）

### 3 発問の分類（思考力 英語力）



### 4 発問（タスク・活動）の順序（同じ発問・タスク・活動をすることも考慮に入れる）

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

## Barrier-Free Society

①“Persons in wheelchairs/ please use only when accompanied.” / This is the notice/ one often sees/ beside elevators/ in Japanese department stores, libraries, and other public places./ But it’s possible for me/ to do all the actions/—riding my power chair into the elevator,/ pushing the button for the floor/ I want,/ and getting off there/—on my own./ Do I really need someone to accompany me?/ This is a question/ which I’d like to look at here./

②Sad to say,/ in Japan today/ it is hard for people with disabilities to move about freely,/ and it’s not easy for us to live on our own./ So there is no denying/ that we need a lot of help./ But it’s the environment/ that forces us into that position./

③How can we take away the physical barriers/ that are so hard on disabled people?/ I feel/ that the key is first to take away the “barriers of the heart.”/ After all,/ we humans make the transport system, the buildings, and the streets./ Depending on/ how well we understand and work with the needs of disabled people,/ we can make/ the physical environment that we ourselves build/ as barrier-free/ as we want./

④Where does that understanding come from? / I think/ it’s worth looking at the question of familiarity./ Japanese people may have had the experience/ of seeing a disabled person in difficulties at a station/ but not knowing how to offer help./ It’s total unfamiliarity/ that makes people hesitate like that./ So they walk on by./ But I don’t think/ they should blame themselves./ Even now,/ you don’t come across many disabled people in the streets or on trains in Japan./ It’s not easy to know/ how to approach people with whom you’ve had so little contact./

⑤In order to take our “barrier of the heart” away, /I think /that, as well as familiarity,/we need a willingness to let others be themselves./ Disabled people are said to have easier lives in Western societies /because Westerners are willing to let other people be what they are. / When many different groups of people live in one country, /you cannot reject others /because they are different from you./ As one minority among many, /disabled people in the West can be viewed the same way:/ a disability is simply a trait of that person./

⑥In Japan,/ however,/ sameness is the common rule,/ and people are afraid of stepping outside its boundaries./ In such a society,/it may not be easy for people with disabilities to be accepted./

## 資料1 プロジェクト学習と21世紀型能力

### プロジェクト学習とは

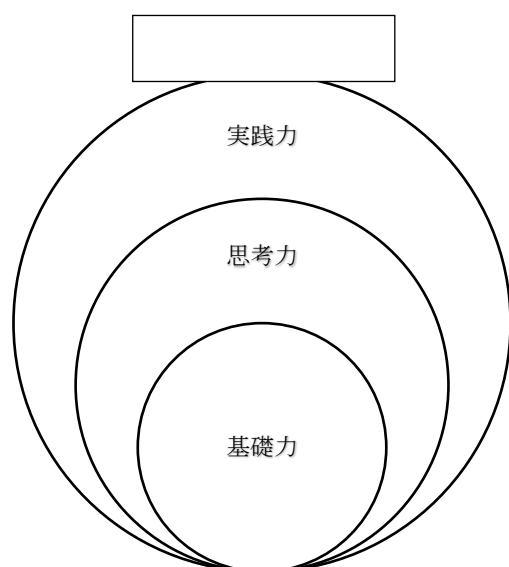
プロジェクト学習 (Project-based Learning: PBL) は「アメリカプラグマティズムの潮流の中で John Dewey(1859-1952)の思想や教育論から大きな影響を受け」(玉木, 2009) て生まれてきたものである。つまり、Dewey の教育理念である“learning by doing” という発想に基づき実際に現実社会で起きていることを経験させることによって学習効果を上げることを目的とした学習法である。

西村(2012)は、プロジェクト学習を Haines(Haines, 1989. Sheppard & Stoller, 1995. Stoller, 2006)を参考に第2言語習得との関係を含め以下のように定義している。

1. 学習者が主体性・自律性を発揮する取り組みを中心としている。
2. 明確な目的を持つプロジェクトを完成させる。
3. プロジェクトへの取り組みの過程で、問題解決能力・批判的思考力・学習へのメタ認能力が要請される。
4. 課題のテーマについての知識を深めること、並びに目標言語の習得を促進することを究極の目的とする。
5. 入念に組み立てられた一連のタスクがあり、学生は多面的な言語技能を用いる諸活動を行う。
6. そのタスクに取り組む間、学生は情報の収集・処理・報告を活発に行う。

上記の定義は、タスク中心の指導法(Task-based Language Teaching: TBLT)とも密接に関係しており、特定の文法習得のためのPPP(Presentation-Practice-Performance)という従来から行われている教師のモデルをもとに行われる指導法ではなく、生徒の直接的な経験を通して行われる帰納法的な指導法であるといえる。

また、プロジェクト学習は文部科学省(2013)が掲げる“21世紀型能力”としての実践力・思考力・基礎力を育成することにもなる。教科横断的な汎用能力や地球規模の諸問題に対して対応できる実践力の育成に向けても重要な取り組みである。



\*「求められる資質・能力の枠組み試案（文部科学省，2013）」

資料2 平成26年度 神戸大学附属中等教育学校 授業研究会英語科指導構想および指導案より

## 1. 育てたい生徒像

英語によるコミュニケーション能力を活用し、地球上に生きる人間として、自分の足元から世界を見る視点を持ち、同時に多様化が進む世界の動きの中で人々と協力・共生しながら自分の生き方を選択し、地球的視野で考え行動できる生徒。

英語科では日本学術会議(2010)の提言を踏まえ、上記の生徒像を2012年度に設定した。このような生徒の育成に向け2013年度に、(1)「英語運用能力」、(2)「課題探究力・理解力・思考力・グローバルキャリア力」に係る各学年の目標を設定し、(1)については5技能(4技能+「やり取りすること」)について「神戸大学附属中等教育学校英語科熟達度評価尺度 “Kobe University Secondary School Framework : KUSF”」を策定している。なお、これらの指標の適正化に向けたPDCA(Plan→Do→Check→Act)サイクルの実施が肝要と考え、(1)については今年度の各学年の授業実践を踏まえたKUSFの検証および再修正を、(2)については第1および第4学年において「共感力」、「批判的思考力」に着目した実践研究を今年度において実施してきた。

- (1)【運用能力】 プレゼンテーションを軸とした5技能英語運用能力（発信力、対話力、質疑応答力等）
- (2)【課題探究力】 諸課題の解決法について、自力で工夫しながら探求し、その考察について英語で表現できる力（自己と他者探求、社会問題探究、地球課題探究）
- (3)【理解力】 ひと・もの・自分との対話、理解を通して自律的に社会や集団と関わることができる態度と能力（自文化・異文化理解、国内・国外課題理解、地球的課題理解、自律的活動）
- (4)【思考力】 さまざまな思考ができる能力（論理的、多元的、批判的、体系的思考力）
- (5)【グローバルキャリア力】 共生を目指して他者とコミュニケーションをすることができる能力（自己理解、他者理解、共感力、社会的理解、自律的思考と行動、共生・共存）

## 2. グローバルキャリア人の教科における構成要素

これらは日本学術会議の提案を参考に昨年度設定をしたものを、今年度部分的に改変したものである。

## 3. 教科の到達目標

### 3.1 【運用能力】: KUSFより抜粋(プレゼンテーションにおける到達全体像)

	内容	聞き手	発表者
基礎期	学習した身近な話題について、事実と感想・意見を明確に区別した原稿をもとにペア・グループまたは個人で3分程度のスピーチができる。	発表後、ある程度の時間をとった上で、内容に関する短い質問ができる。感想を述べることができる。	質問された内容に短い応答ができる。
充実期	学習した日常的な話題について、パラグラフ構成を明確にした原稿に基づきプレゼンテーションすることができる。ペア・グループまたは個人で5～10分程度、比較的自然的な言葉遣いで表現できる。	メモを取りながら発表を聞き、その内容を英文でまとめることができる。またその内容に関して自分の意見を述べ、質問ができる。	発表後のやり取りで予測可能な質問について単純な英文で明確に答え、追加情報を述べるることができる。
発展期	国際問題について多角的にリサーチした上で、視聴覚機器を使いながら、事実関係をレポートし、解決へ向けた自分の考え・主張を根拠に基づきプレゼンテーションができる。	発表内容について根拠をもとに明確に自分の意見を述べるができる。	聞き手との意見交換を通じ、追加情報を述べたり、様々な意見を受け入れ、根拠をもとに明確に反対意見が表明できる。

### 3.2 【課題探究力】、【理解力】、【思考力】、【グローバルキャリア力】(各到達目標より一部抜粋)

	課題探究力	理解力	思考力	グローバルキャリア力
基礎期	自分に直接関係する事柄を英語で表現することに興味を持ち、効果的に表現できる。	自文化や異文化の特徴について自己の視点から理解できる。	数文間の結束性を把握したうえで、その意味を論理的に思考できる。 (論理的思考力)	自己や直接関係する他者を肯定的に理解することができる。
充実期	社会問題に興味を持ち、自分と関連付けながら表現できる。	○自文化、異文化について多面的な理解ができる。 ○社会問題について基本的な情報・事実を理解できる。	話し手、書き手からの情報、意見に対して根拠を明確にした上で自分の考え・意見を表現したり質問したりできる。 (批判的思考力)	社会的な視点から事象や人間を理解することができる。
発展期	地球規模の課題について自ら問いを立て、積極的に調査したり考察したりして結論を導き出すことができる。	地球課題や国際問題について多面的に理解し、問題解決へ向けた行動や提案を具体的に示すことができる。	複数概念の比較をもとに独自の新しい概念化を試みることができる。 (体系的思考力)	地球規模の視点から、共生・共存をめざした自覚とその実現へ向けた自律的な行動ができる。

#### 4. 到達目標達成のための学習内容や方法例

キーワード：CLIL 5技能統合型授業 プレゼンテーション 英語で行うことを基本とする授業

英語科では後期課程発足以来、1.の「育てたい生徒像」の実現に向け、後期課程において、多様な社会状況に関する知識・内容と言語学習を統合した学習方法である「内容言語統合型学習(Content and Language Integrated Learning：CLIL)」を積極的に取り入れてきた。内容についてはユネスコスクールの4つの基本分野(地球規模の問題に対する国連システムの理解、人権・民主主義の理解と促進、異文化理解および環境教育)を主として扱い、一方の言語学習では5技能統合型の授業展開を核としている。これを踏まえ、アウトプット場面でプレゼンテーションを中心とした言語使用場面を設定することにより(1)内容に踏み込んだ言語活動、(2)生徒の英語による言語活動、を充実させている。なお、今年度は後期課程における「言語活動の高度化(従前の発表、討論の質の向上)」に向けた取り組みに加え、前期課程においては後期課程と関連した指導計画の作成を意識し、教科書を中心とした内容に加えて、(1)、(2)への実践、そして「英語で行うことを基本とする授業」も取り入れてきた。これらは次期学習指導要領改訂に向けた提言でもある「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～」(平成26年9月)の方向性に沿った実践でもある。

#### 5. 到達目標達成度に係る評価方法例

定期考査 パフォーマンステスト 外部テスト(GTEC：標準化されたスコア型英語テスト)

英語科では KUSF に沿い、5技能およびプレゼンテーション能力の評価(定期考査に加え、パフォーマンステストの重視)を行っている。また、外部テストとして、中学・高校生対象の標準化されたスコア型英語テストである Benesse®の GTEC for STUDENTS を全学年で実施し、得られたテストスコアと KUSF との整合性について随時検証している。

## 第4学年3・4組 コミュニケーション英語Ⅰ 学習指導計画

### 単元名 異文化理解

1. 日時 平成27年2月6日(金) 公開授業Ⅰ

2. 場所 4年4組教室

3. 単元設定の理由

#### (1) 教材観

学習材

- ・ Romesh Gunasekera (1992) *Carapace*. Retold by Clara West (2008) in *Land of my Childhood, Stories from South Asia Stage 4*(pp. 1-7) Oxford Bookworms library

本学年の生徒は、教科書 PROVISION (桐原書店)にある物語文“The Night Train at Deoli”をすでに学習している。インドにおける貧困や身分の違いなどの社会的背景を学習しながら、最終的に彼女との恋愛成就への行動に踏み切らなかった主人公の心情を読み解いた。今回は、これまで学習してきたことをもとに、さらに多面的・批判的に物語を理解することを目的に南アジアの一国であるスリランカを舞台とした物語文を学習する。

物語文では本文理解を深めるために、文章を分析しながら解釈し、それらを多面的・批判的に検討するという作業を行う。論説文とは違って、求められる解答は必ずしも一つではないため、複数の考え方にふれながら、自分の意見をまとめるという作業が必要である。この作業を通じて、多面的・批判的・論理的に物事を考えるというグローバルキャリア人の構成要素である「思考力」を育成したい。

この物語は恋愛をテーマとして扱っている作品であるが、その背景には貧困や紛争などの社会問題が見え隠れしている。前の単元と合わせて南アジア地域が抱える社会問題が、人々の生活にどのような影響を及ぼしているかについて、物語を通じて読み取っていく。

#### (2) 生徒観

本単元を実施するにあたり、事前調査を行った。“What is important for your happiness?”という題で生徒に英作文試験を実施した。以下は、対象生徒の解答サンプルである。

(平成27年1月8日実施／対象4年3・4組生徒19名)

《よく書けている例》(原文通り)

I think family and friends are important for my happiness. I feel happy when I talk with them. If I'm in trouble, they listen to me and give good advice. Moreover, they make me smile. I want to be a person who can make some happy like my family and friends. Also, sweets are important. I like to eat sweets. I always want to countine eating them. But I can't eat because I don't want to get fat...

《平均的な例》(原文通り)

I think that soccer is very important for my happiness. I have two reasons. first. Playing soccer is very fun. Because soccer is very hard. But soccer improve my feelings. Second. Watching soccer is very exciting. Japan has big soccer reague. It think. They makes me happy. This's why I think soccer is very important for my happiness.

《あまり書けていない例》(原文通り)

It is people's kindness. If All of people help each other, they became happy. It is important for me to speak many other people. It is grown me.

よく書けている生徒は、英文の構成がしっかりしており内容に一貫性がある。平均的な生徒はトピックセンテンスとそれに対する理由を簡単に書くことができています。あまり書けていない生徒の解答は、単文もしくは単語やフレーズによるものが多かった。現在、生徒の多くは KUSF における A2.2～A2.1 レベル(CEFR A1)であるが、授業では B1.1(CEFR A2)を目指した指導を行う。



### (3) 方法観

登場人物の心情や考えについて、文章の語りの視点や登場人物の職業、身分、容姿などを考慮しながら分析的に理解を深め、恋人関係にある二人が直接的に言葉にしない思いを、行間にこめられたメッセージから読み取っていく。

同じ場面であっても、登場人物それぞれの立場を考慮すると、その場面は幾通りにでも解釈することができる。文字で書かれた情報に、視聴覚教材を用いた音声情報を加えながら、様々な意見にふれ、物語の深い内容理解とそれを批判的に分析する力を育成する。

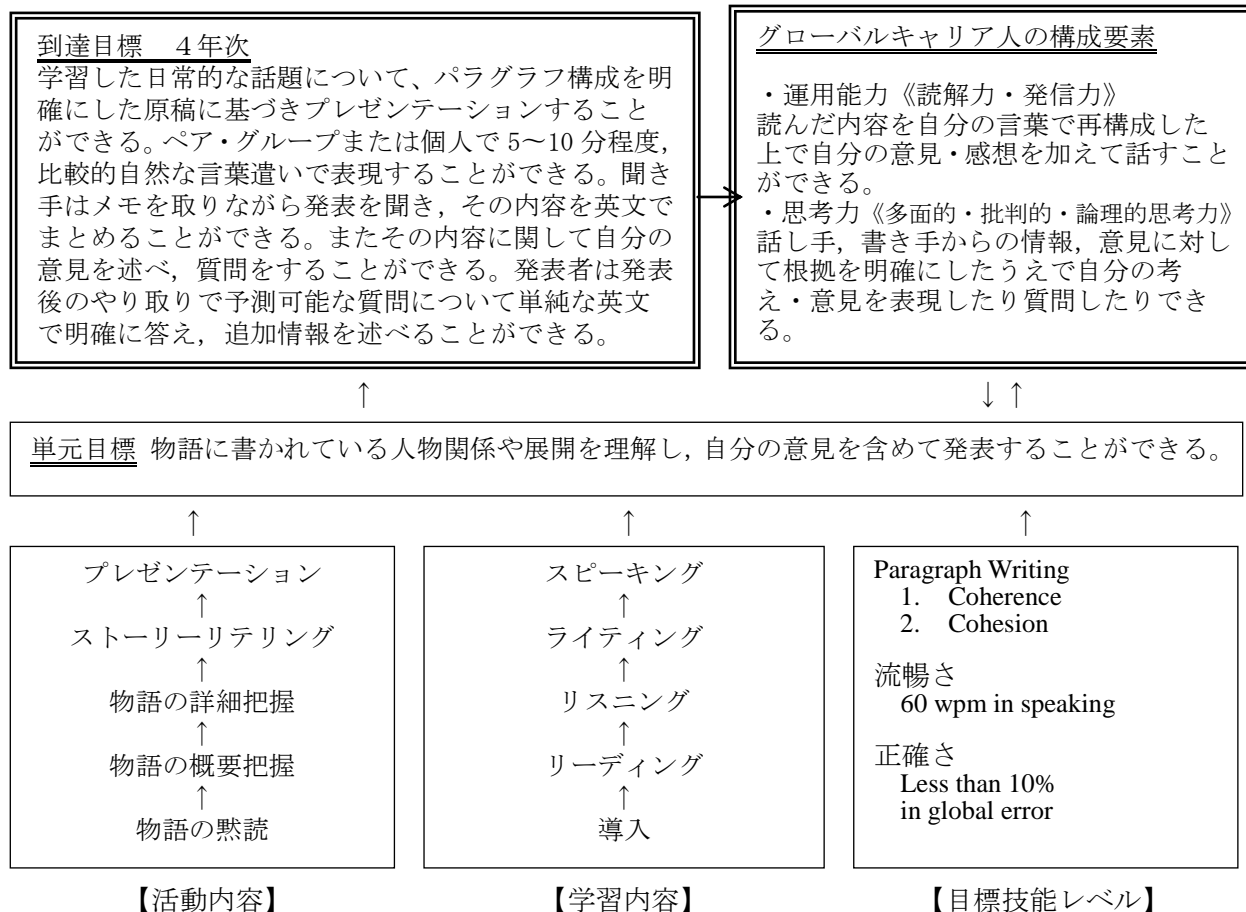
本文にある言語材料の intake 活動として、人物描写を中心としたストーリーリテリングを行う。物語の展開が進むにつれて、少しずつ登場人物の描写を増やし心情の変化にも言及できるように練習する。本文にある言語材料を身につけた上で、物語の展開に対する自分の意見をプレゼンテーションの形で発表できるよう準備させる。ペアやグループで様々な意見に触れることによって、より多面的・批判的な意見を構築しそれを5分間のプレゼンテーションにまとめ発表することとする。

## 4. 単元のねらいと構造

### (1) 単元のねらい

- I 物語の文章に書かれていることから、登場人物の心情や考えを読み取ろうとしている。
- II 登場人物を英語で描写することができる。また自分の意見を含めて物語の内容を説明することができる。
- III 登場人物の関係や物語の展開を読んで理解することができる。
- IV 仮定法を理解している。

### (2) 単元の構造



5. 単元の展開と評価（全 15 時間）

時	主題	ねらい	
	<div>始</div> <div>事前調査</div>	<div>“What is important for your happiness?” に関する記述調査</div>	
1 時	<div>導入</div>	<div>・ “What is important for your happiness?” についてペアで簡単な話ができる</div>	I
2 時	<div>本文内容理解と口頭表現練習</div>	<div>・ 登場人物の特徴について物語を読んで理解することができる</div>	III
3 時		<div>・ 登場人物について、簡単な英語で説明することができる</div>	II
4 時		<div>・ 物語の展開を理解することができる</div>	III
5 時		<div>・ 物語の内容を理解しながら音読することができる</div>	II
6～7 時		<div>・ 物語の内容理解を深める質疑応答が英語でできる</div>	III
8 時 (本時)		<div>・ 自分の意見を英語で書くことができる</div>	II
9～10 時		<div>・ 主人公の心情を読み取ることができる</div>	III
11 時		<div>・ 物語のテーマが理解できる</div>	III
12～13 時	<div>プレゼンテーション</div>	<div>・ プレゼンテーションに必要な原稿作成とスピーキング活動を積極的に行おうとしている</div>	I
14～15 時		<div>・ 5 分間以上のプレゼンテーションを一人で行うことができる</div>	II
	<div>事後評価</div> <div>家</div> <div>終</div>	<div>定期考査</div> <div>（1） “What is important for your happiness?” に関する記述問題</div> <div>（2） 物語の理解を問う問題</div> <div>（3） 仮定法に関する問題</div>	

【評価の観点】

- I 英語コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- II 外国語表現の能力
- III 外国語理解の能力
- IV 言語や文化についての知識・理解

### 資料3 スピーキング力向上のための教科書の使用例

「英語音声コミュニケーション指導ハンドブック(近日刊行)」原稿より

#### Step 1

- 1 教科書の一部をそのまま再利用する。
- 2 教科書の一部を言い換えて利用する。

#### Step 2

- 3 対話形式を報告文にする。
- 4 教科書の本文を要約する。
- 5 教科書の内容をもとに推測する。
- 6 教科書に書かれている内容について意見を述べる。

#### Step 3

- 7 書かれている視点を変えて編集し直す
- 8 教科書本文の続きを創作する。
- 9 書かれていない情報を調べて発表する。

### 1 教科書の一部をそのまま再利用

#### Example

Mei: I hate winter in Japan!

Aya: Why?

Mei: Because it's too cold outside.

Kenta: Really? I love winter!

Mei: I can't believe it. Why do you like winter?

Kenta: We have Christmas and New Year's Day. We get gifts and money.

Mei: That's true. But still, I hate winter.

(ONE WORLD 1 L8)

Task:本文を参考に「冬」は好きか嫌いか言ってみましょう。

T: Do you like winter?

S: Yes.

T: Why?

S: Because we have Christmas and New Year's Day. We get gifts and money.

\* 下線部は教科書と同じ表現

### 2 教科書の一部を言い換えて利用

#### Example

Maria, the Philippines

I'd like to study abroad. My parents aren't sure. I want them to understand my dream.  
What should I do?

Boris, Russia

I want to be a musician using computers. But my parents want me to be a doctor. Can I find a way to do both?

Carlos, the USA

I want to be a scientist and find a way to travel in time. I don't know when I will do it. But I will.

Kumi, Japan

I wonder why we have much waste. I think we buy too many things. Let's reduce waste by reusing and recycling things.

(NEW CROWN 3 L7)

Task: 誰と友だちになりたいですか、その理由はなんですか。

T: Who do you want to be friends with among the 4 people?

S: I want to be friends with Boris, because I like music and I want to be a musician, too. He said that his parents want him to be a doctor. I understand how he feels. My parents also will not listen to my dream.

Example

My favorite photographer is Urashima Koichi. He lived in Toyokoro-cho, near Obihiro. He visited the same elm tree day after day to take photos of it. When I saw these pictures for the first time, I was so moved. This summer I visited this tree to take my own photos of it. I was very happy to be there.

(ONE WORLD 2 L6)

Task: 筆者になったつもりで答えましょう。

T: Where did you go this summer?

S: I went to Obihiro in Hokkaido.

T: That's great. What did you do there?

S: I took photos of an elm tree.

T: Why did you do that?

S: Because I like taking photos. I am interested in photography.

T: What is your favorite photographer?

S: My favorite photographer is Urashima Koichi.

T: What photos did he take?

S: He took photos of an elm tree. I took photos of the same elm tree.

### 3 ダイアログをモノローグへ変換

#### Example

Bob: What is this shrine famous for?  
Aya: This shrine was built to remember Sugawara Michizane. He was a very wise man, and people call him “The God of Learning.”  
Bob: I see. What’s that paper in your hand, Aya?  
Aya: It’s an omikuji. It tells my fortune.  
Bob: What does it say?  
Aya: It says daikichi. That’s the best kind of luck!  
Bob: What else does it say?  
Aya: I’ll pass the entrance exam!  
Bob: Good for you!

(ONE WORLD 3 L1)

**Task:** ボブは先日、あやとデートしました。ボブはそのデートについて彼の友人に楽しいそうに話します。ボブになったつもりでどんなデートだったか話しましょう。(実際の教科書とは異なる場面設定にしている)

I went to Kyoto yesterday with my friend, Aya. We visited a shrine there. It is called Kitanotenmangu. It was built to remember a very wise man called Sugawara Michizane.

Aya had a paper called omikuji. It told her fortune. It said she would pass the entrance examination. I was glad to hear that.

### 4 教科書の本文を要約

教科書本文を要約する技能はコミュニケーションの多くの場面で必要である。特に聞いた内容、読んだ内容を第三者に伝えるときにはこの要約する能力は不可欠なものである。要約する方法は目的に応じて様々だが以下のような方法が考えられる。

- 1 全体を読んだ後、話題の流れが分かるようにキーワード（と思われる語句）を抽出する。
- 2 話題の核となるアイデア (main idea) を理解し、上記のキーワードから最重要語句を絞り込む。
- 3 2のキーワードを中心に記述し、目的に応じて長さを調整する。
  - ・全体描写→詳細描写の順序を心がける。
  - ・具体例は基本的に削除する（場合によっては必要）。
  - ・重複する箇所（言い換え表現など）は削除する。
  - ・下位概念は上位概念でまとめる (apples oranges→fruits など)。
  - ・一連の行動描写を1～2文でまとめる。
  - ・できる限りパラフレイズするように指示する。
  - ・今までに学習した文構造を中心にまとめる。

#### Example

I took my first trip alone during the summer vacation of my third year in junior high school. “I’ll be away for a week or so,” I proudly told my family and boarded a night ferry from Tokyo to Izu Oshima Island. There was just a light blanket in my backpack. What was I planning to do? I can’t clearly remember now, but I think I planned to sleep

out in the open air.

The trip was a total failure. Unexpected problems came up as soon as I landed in Oshima. I felt uneasy, and I got back on the ferry to Tokyo. I was so embarrassed to return home within twenty-four hours. What a coward I was! (118 words)

(PROVISION English Communication I)

Task:内容を要約しましょう。

目的に応じて長さを調整

例 1) 何について書かれた英文か。

This passage is about how the writer took his first trip.

例 2) 誰が何をして、結果どうなったか。

The writer took his first trip alone from Tokyo to IzuOshima, but he failed. (14 words)

例 3) 誰がいつ何をどのようにして、結果どうなったか。

The writer took his first trip alone from Tokyo to IzuOshima when he was a junior high school student. He had only a light blanket to sleep out. He had unexpected problems. He felt uneasy and went back to Tokyo very soon. (42 words)

\*全体描写→詳細描写の必要があるときは例 1 を例 2 および例 3 の初めに付け加える。

## 5 教科書の内容をもとに推測

ここで言う推測とは、生徒が教科書の記述に対して意見を述べるときに、本文の記述に基づきその主張の論拠を組み立てることを指す。教科書に書かれていることに加え、そこから生徒自身がどのような視点で自分の主張を裏付けるのかを考える。この論拠を組み立てることに慣れてくるとディベートやディスカッションにおけるスピーキング能力につながる。

### Example

Sugihara sympathized with the Jewish refugees, but he didn't have the authority to issue hundreds of visas without permission from the Foreign Ministry in Tokyo. He sent telegrams to the Foreign Ministry three times for permission to the refugees. Three times he was refused.

After receiving the third negative response from Tokyo, Sugihara discussed the situation with his wife and children. He had to make a difficult decision. On one hand, he was bound by the traditional Japanese obedience he had been taught all his life; on the other hand, he had been told to help those who were in need. He knew that if he refused the orders of his superiors, he would be fired and his family would suffer great financial difficulty.

Sugihara and his wife Yukiko even feared for their lives and the lives their children, but in the end, they followed their consciences. Sugihara decided to issue the visas.

(MAINSTREAM ENGLISH COURSE II Lesson 4)

Task: 杉原千畝の行動から判断して彼は brave ですか、それとも selfish ですか。あなたの主張とその理由を話しましょう。

- 1 彼のとった行動を本文中から探す。  
He decided to issue the visas.
- 2 なぜその行動をとったかの理由を本文中から探す。  
1 Sugihara sympathized with the Jewish refugees.  
2 He had been told to help those who were in need.  
3 They followed their consciences.
- 3 brave か selfish かの根拠を本文を引用しながら自分で考える。

#### Student A

I think he was brave. He had been told to help those who were in need, so he sympathized with the Jewish refugees based on his conscience. People usually tend to think about themselves first, not about other people. He did something that not many people could do. That's why he was brave.

#### Student B

I think he was selfish. He knew that if he refused the orders of his superiors, he would be fired and his family would suffer great financial difficulty. If he could help many people and he ended up to make his family unhappy, I can't say he was brave. Family should be the most important thing in our lives.

### 6 教科書に書かれている内容に対する意見

ディベートのように教科書で記述されているある意見に対し生徒自身の意見を表明させたいときには次の方法で行うとより教科書本文を再利用することができる。

- 1) “You said that～, but I don't think so. I have two reasons....”のようなフレーズを使って本文中の記述を述べてから自分の意見を言う。
- 2) 教科書の記述に対して教師が反論文を書き、その反論文に生徒が反論する。

#### Example

I believe that boxed lunches are better for us junior high school students. Let me explain two reasons.

First, we don't have to eat things we don't like. Second, we can eat as much as we want. Therefore, if we have boxed lunches, we're able to enjoy lunch more.

(ONE WORLD 3 L7)

Task:あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

S: You said that we don't have to eat things we don't like, but I don't think so. It's not good for your health. You have to eat many different things. And you said that we can eat as much as we want. But that's also true for school lunches. We can have second helpings. And think about your mother. She has to make lunch for you every day. It's very hard for her.

### Example

We are what we eat, so if our food is fast, then our lives are also fast. We buy a lunch in a bag, take it to work and eat it in our cars or at our desks; we don't share meals often with our families or friends; we eat anything we can in the shortest time possible. No wonder we feel terrible, stressed out, and are a lot heavier. Since many people prefer to eat fast, efficient food, it's not surprising that much of our culture has little taste, little variety, and far too much speed.

The world is getting smaller and smaller, and the cultures in different countries are getting more and more similar. However, there can be, or have to be, many kinds of unique cultures in the world.

(ELEMENT English Course II L4)

Task: 次の英文は上記の英文内容を批判しています。あなたはこの批判した内容に賛成ですか、反対ですか。

You criticize fast food. You say that we feel terrible, stressed out, and are a lot heavier, when we eat fast food. But we are all busy every day. We don't have time to enjoy food. We have to earn money to support our families by hard work.

S: It's true that we are all busy. But we are what we eat, so if our food is fast, then our lives are also fast. If we continue living fast, we cannot live healthily. You'll feel terrible, stressed out. And also you'll become fat. We should have time to share meals often with our families or friends.

### 7 書かれている視点を変えて再編集

物語文や人物紹介を扱った教材では、視点の変更（第3者視点⇔主観視点）によって、教材の再利用が可能になると同時に、生徒の創造力を育成することができる。また、書かれている視点を変えることによって多面的に教科書の内容を理解することができる。

### Example

Boris, Russia

I want to be a musician using computers. But my parents want me to be a doctor.  
Can I find a way to do both?

(NEW CROWN 3 L7)

Task: ボリスの母親の立場になって言いましょう。

S: I'm worried about my son. He wants to be a musician in the future. But he cannot earn money as a musician. I want him to be happy.



## Example

I want to tell you about one of the finest therapy dogs I have ever known.

One day, I discovered that some children were looking after an abandoned mixed breed dog and her five puppies in an old deserted house. They had found them in a cardboard box in the garbage. When I first saw the mother, Chirori, she was very dirty and I noticed her back leg was deformed.

I was worried about the dogs, so I visited them regularly. After a while, I found people to take care of the puppies, but nobody wanted Chirori.

Suddenly she disappeared. Had somebody found her and taken her to the local animal shelter? I rushed over to check. "If I don't hurry, she may be put to death!" I thought.

Sure enough, Chirori was in the corner of a cage with several other dogs. When she saw me, she jumped up at the bars. Her eyes were desperately saying, "Help me! I don't want to die!" When I stroked her through the bars, I knew I had to save her.

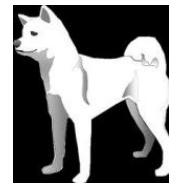
As I led Chirori out, the other dogs were letting out sad cries. She suddenly turned and sat down. I knew she didn't want to leave them behind. "I'm sorry," I said sadly, "but you're the only one I can help for now."

(PRO-VISION I L4)

**Task:** 犬の立場から今までの出来事を紙芝居で説明しましょう。

自分が殺処分寸前から救出されたエピソードのはじまり

I want to tell you about how I was saved.



赤ん坊と一緒に捨てられたエピソード

I stayed with my babies in an old deserted house. I didn't know what to do with them.



近所の子供たちが私の赤ん坊の世話をし始めたエピソード

In the meanwhile, some children and a gentle-looking man came to see us. The children took care of my babies, but no one showed any interest in me.



悪い顔をした男が私を連れ去ったエピソード

One day a man who looked bad came and took me to a local animal shelter.



連れて行かれた場所で他の犬との出会いエピソード

There were other dogs there. They said that they would be killed sooner or later. I was very afraid.



依然会いに来てくれた優しい男との再会エピソード

A few days later, a man I saw in the deserted house came. When I saw him, I jumped up at the bars.



必死に助けを求めたエピソード

I said, "Help me! I don't want to die!" He stroked me gently, and he let me out.

友との別れエピソード



Then the other dogs began to cry. When I thought that they wanted to go out, I turned and sat down. I wanted to save them, but it was impossible to do so.

## 8 教科書本文の続きを創作

教科書で扱われている物語文や対話文の続きを創作させること、または説明文の後に自分の意見を続けて言わせる活動は今まで学習してきた内容をさらに深めることができ、また、話の続きを考えることは論理的思考力、創造的・想像的思考力を育成することにつながる。教科書本文を暗誦したあとにこの活動を行うと発話量が劇的に増える。

### Example

Bob: I have a lot of manga at home.

Kenta: Can I see some of them? Can you bring them to school?

Bob: No, we can't bring manga to school.

Kenta: Oh, you're right.

Bob: Let's read them at my house this weekend!

Kenta: It's far! How can I get to your house?

Bob: You can walk!

(ONE WORLD I L7)

Task: この後、ケンタはなんと言うでしょう。

S1: I have a lot of manga at home.

S2: Can I see some of them? Can you bring them to school?

S1: No, we can't bring manga to school.

S2: Oh, you're right.

S1: Let's read them at my house this weekend!

S2: It's far! How can I get to your house?

S1: You can walk!

S2: You are not kind! Come to MY house with manga.

### Example

The number of shima-fukuro decreased for two reasons. First, many trees were cut down, so the owls had no place to build their nests. Second, people built dams which salmon and other fish could not jump over. Fewer fish meant less food for the owls.

These days, volunteers are buying land and saving it for the owls. Now there are more than 100 hectares of protected land in eastern Hokkaido.

What else can we do to save the owls?

(ONE WORLD 3 L6)

Task: 最後の英文に続けてあなたの意見を言いましょう。

上記英文の続きから

S: I think we should know more about shima-fukuro. And then we should make chirashi, or leaflets, and pass them to people in our town. If they are interested in shima-fukuro, they will stop cutting down trees and building dams.

### 9 書かれていない情報を調べて発表

教科書に記載されている内容では不足している情報がある。その不足情報を生徒自身がリサーチすることによって教科書の内容をより深く理解し、調べて発表する力を身に付けることができる。

### Example

#### Miep Gies

To a casual observer, Miep Gies looked like quite an ordinary woman. But every day for two years she broke the law. Today, the world respects her for having the courage and com- passion to do that.

In 1939, Miep was living and working for a company in Amsterdam in the Netherlands. World War II broke out that fall. A few months later, Hitler and his Nazi soldiers took over the Netherlands. Miep knew Hitler hated all Jews. Still, it was shocking to see Nazi soldiers begin to round up Jews and ship them off to forced labor camps. Miep Gies was not a Jew, but she hated what was happening. She felt angry every time she saw a Nazi soldier. By 1942, Otto Frank, whom Miep was working for, was in danger. Mr. Frank desperately wanted to protect his wife Edith and their two daughters, Margot and Anne. But what could he do? As a Jew, he had no rights. He and his family weren't allowed to leave Amsterdam. Any day now, the soldiers would come and take them all away.

(Voyager Reading Course L12)

Task : Nazis がどのようにして民衆から支持を得ていったかについてリサーチして発表しよう。

T: The passage says that Hitler and Nazis hated Jews and began to round up them and ship them off to forced labor camps. To do so, Nazis needed supports from German people. How did Hitler and Nazis persuade them to see Jews as devils and get support from German people? Do some research and make a presentation.

## 資料4 評価の実際

### 1 Japan Standard

以下に、日本の高校生の実態に即していると思われる JS の A2.1 A2.2 B1.1 B1.2 のレベルを示す。太線内の記述とその下の枠内の記述はそれぞれ総論と各論を表わしている。

B1.2	個人的な関心事にとどまらず、練習しておけば、既知の簡単な社会問題についても、他の事実や情報などと比較しながら、説明したり、詳しく述べたり、話し合ったりできる。
	初対面の人でも、相手の人が標準的な発音・表現で話してくれれば、話を理解し適切なコミュニケーションができる。
	観た映画や読んだ本の感想について述べたり、その映画や本のストーリーを比較的詳細に説明したりできる。
	言語表現はいつも正確であるとは言えず、言葉が詰まったりすることもあるが、かなり容易に自分のことは伝えられる。
	比較的幅広い語彙があり、ある程度は複雑な文構造を使って様々な表現ができるので、発音、アクセント、イントネーションなどが多少不自然なことがあっても、問題なくはっきりと理解される。
	文法の誤りは多少あるが、話題や場面などが普通とは少し異なっても、ほとんど問題にはならない。

B1.1	時には言いたいことが言えないこともあるが、個人的な関心事や経験、具体的な話題などであれば、比較的詳しく話せる。
	複雑ではないが、買い物で自分の要望を伝えながら交渉するなど、日常生活で必要なやり取りができる。
	内容により緊張を伴う状況でも、自分の感情や感想、夢や希望など個人的なことは伝えられるが、抽象的なことを述べるのには困難がある。
	内容によってはたどたどしいところがあるが、事実関係を述べたり、理由を説明したりすることができ、聞き手に理解される発話を維持できる。
	日常生活からやや広範囲にわたる語彙と、頻度の高い言い回しが使えるので、アクセントやイントネーションに、日本語なまりや誤りがときどき見られるが、発音は比較的是っきりと理解される。
	比較的多様な文構造が使えるが、文法の誤り（冠詞、接辞など）は自然な発話の際にはよく起こる。理解を妨げることはほとんどない。

A2.2	聞き手が集中して聞いてくれれば、日常的な出来事の話について、個人的な気持ちや考えを、簡単なことばと短い文である程度詳しく話すことができる。
	はっきりとゆっくりとしたやり取りであれば、個人的な関心ごと・経験・習慣・日々の話題について、会話に参加することができる。
	必要に応じて会話の相手が助けてくれれば、日常的な場面において考えや情報を交換したり、質問に答えたり、賛成や反対の意見を言うことができる。
	練習する時間が与えられれば、短いプレゼンテーションが滞りなくできる。
	話し方は、準備されている内容については比較的流暢であるが、即座の応答に対しては言葉に詰まることが頻繁にある。
	よく使われる日常的な語彙や、基本的な文法および慣用表現は、うまく使いこなせるので、発音に日本語なまりや誤りがあっても理解は可能である。
	比較的多様な文構造が使えるが、文法の誤り（冠詞、接辞など）は自然な発話の際にはよく起こる。理解を妨げることはほとんどない。

A2.1	聞き手が集中して聞いてくれれば、日常的な出来事の話について、個人的な気持ちや考えの概要を、簡単なことばで大ま
------	--

	かに話すことができる。
	はっきりとゆっくりとしたやり取りであれば、自分自身の生活・環境・好き嫌いなどの社交的な話題について、短い会話に参加することができる。
	必要に応じて会話の相手が助けてくれれば、よくある日常的な場面において、社会生活上に必要な簡単なやり取り（買い物、食事、会う約束など）ができる。
	十分に練習する時間が与えられれば、短いアナウンスや簡単なプレゼンテーションができる。
	身近な話題（生活、日課、好き嫌いなど）であれば、基本的な文法を用いて、初歩的な短い即座のスピーチができる。ただし、基本的な文構造であっても多くの言い誤りはかなり起こる。
	話す内容によって想定できる語彙や、基本的な文法（接続詞など）は、容易に使いこなすことができるが、発音に誤りやカタカナ語の影響による日本語なまりもあり、ときに誤解を生じる。

## 2 1年次の目標

1年次の目標は診断テスト等によりおおよその目標として設定し、現状に応じて変更し次年度の重点指導計画の資料とする。年間計画はその学年の1年間の学習を見通すために特に大切である。コミュニケーション能力の育成の観点からは、特にスピーキング力育成のプロセスを組み込む必要がある。スピーキング力はスピーチやプレゼンテーションに代表されるようなモノログとチャットやディベート、ディスカッションなどのオンラインで行われるダイアログの2つの技能の使用場面を想定する。第2言語習得理論の知見から、アウトプットするためにはインプットが必要であるということを考えると、1年次はインプット中心になるが、上記の例はインプットされた英語→サマリー→意見の表明→意見交換の順序をもとに指導計画を立てている。1年次では教科書等で学習した内容を自分の言葉でパラフレーズしながらまとめることを最優先している。これは自分の言葉でまとめる力が発話量を増やすもとなるもの（モノログ）であり、また、教室内で共有できる英語であるため対話（ダイアログ）が始まる基盤づくりのためでもある。

トピックは自己関連性が言語習得には欠かせないという知見から、身の回りのテーマ→身の回りの社会的テーマ→世界的・地球規模のテーマの配列を意識して計画する。中学校で身近なテーマについて学習済みであるが、高校ではよりスムーズに英語が話せる（正確さより流暢さを重視）ことを目標にしたい。

1年次の目標			
評価内容（JS記述を具体的実践計画に基づいて変換）		JSレベル	評価場面
話す	学習したことをもとに、事実関係を述べ、学習したことを再解釈して自分なりのアイデアを聴衆の前で提案することができる。	B1.1	口頭発表
聞く	視覚教材があれば、学習したテーマと関連した内容について、その概要を理解することができる。	B1.1	聞き取り テスト
読む	身近な話題や学習したテーマと関連した内容（将来の夢、個人的エピソード、地元の町、日本文化、バリアフリー社会）であれば、500語程度の文章が辞書など準備しなくても、要点を理解できる。	B1.1	定期考査
書く	事柄の提示は直線的であるが、身近で事実に基づく話題や学習したテーマと関連した内容であれば、ある程度自分の意見を含めてパラグラフの形式で簡単な文章を書くことができる。	B1.1	発表原稿

### 3 1年次の年間計画

学期	UNIT	時間	話題領域	トピックと教材	Speaking	目標 (can-do)	技能 (観点)	評価方法、場面
I	0	2	診断テスト	英検3級と準2級	1分間自己紹介		読む・書く・聞く	一斉テストと録音
	1	10	日常生活	My Dream 教科書	サマリー	書かれた内容の概要が理解できる	読むことー理解	定期考査
						キーワードをもとに読んだ内容の概要をまとめることができる	書くことー表現	小テスト
						読んだ内容の概要を口頭で発表できる	話すことー表現	録音 (定期考査)
						パラグラフ構成が理解できる	読むことー知識・理解	原稿チェック、定期考査
	2	12	日常生活	My ambition 3年生のエッセイ作品	サマリー プレゼンテーション	話される内容の概要を理解することができる	聞くことー理解	定期考査
						パラグラフ構成が理解できる	書くことー知識・理解	小テスト
						ペア・グループで積極的に話し合いに参加している	話すことー関心・意欲・態度	観察
						新しい単語・文構成が理解できる	読むことー知識・理解	定期考査
						自分の夢についてパラグラフを意識した構成で発表できる	話すことー表現	プレゼンテーション
	3	15	日常生活 平和	貞子 教科書	サマリー	時間軸に沿って内容を理解することができる	読むことー理解	定期考査
						作者の意図を理解できる	聞くことー理解	定期考査
						学習した英文を意味のまとまりに注意してに音読ができる	読むことー理解	個人パフォーマンス
						学習した内容をサマリーできる	話すことー表現	口頭発表
II	4	18	文化	My hometown. 教科書・インターネット 情報	プレゼンテーション	書かれた内容の構成を理解することができる	読むことー理解	定期考査
						話される内容の概要を理解することができる	聞くことー理解	小テスト 定期考査
						キーワードをもとに読んだ内容の概要をまとめることができる	書くことー表現	原稿チェック
						写真を使って効果的にプレゼンテーションすることができる	話すことー表現	プレゼンテーション
						付帯状況、接続詞およびinの使い方を理解できる	読むことー知識・理解	定期考査
	5	20	文化	My Cool Japan. 教科書・ALTのエッセイ	サマリー ペアによる意見 交換	読む活動に積極的に参加できる	読むことー関心・意欲・態度	観察
						学習した内容を自分の言葉で簡潔にまとめることができる	話すことー表現	口頭発表
						自分の考えを簡潔な言葉で意見交換することができる	話すことー表現	ペアパフォーマンス
III	6	12	文化	日本人 ALTのエッセイ	プレゼンテーション	事実と意見を区別して内容を理解することができる	読むことー理解	定期考査
						2つの事柄を対比してその違いを理解することができる	聞くことー理解	小テスト 定期考査
						日本人のいい点・悪い点について100語程度で書くことができる	書くことー表現	原稿チェック
						日本人 (日本文化) についてプレゼンテーションすることができる	話すことー表現	プレゼンテーション
	7	18	福祉・人権	Barrier Free Society 教科書・インターネット 情報	サマリー プレゼンテーション	事実と意見を区別して内容を理解することができる	読むことー理解	プレゼンテーション
						話し手の意向の概要を理解することができる	聞くことー理解	定期考査
						学習した内容を自分の言葉で簡潔にまとめることができる	話すことー表現	個人パフォーマンス
						事実と意見を区別して書くことができる	書くことー理解	原稿チェック
						イラストを効果的に使ってプレゼンテーションすることができる	話すことー表現	プレゼンテーション
						英語の1文レベルの構造を理解できる	読むことー知識・理解	小テスト

#### 4 1年次の最終単元(UNIT)構想

単元の 流れ	主な活動内容	スピーキング 活動と評価項目
導入 【2時間】	<p>○本質的な問いについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は“a good country”かについて考える。</li> </ul> <p>○写真・イラストの提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く活動および読む活動1で使用する英文の概要を表す内容を写真やイラストで示す。</li> </ul> <p>○写真・イラストの描写</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉で写真・イラストを描写する。</li> </ul> <p>○障害者の問題に関する情報収集を指示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語、または英語で書かれた情報を集め、スクラップブックに張り付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換</li> <li>・状況描写</li> </ul>
聞く活動 【1時間】	<p>○読む活動1の英文を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語の練習をする。</li> <li>・英文を見ずに概要を確認する。</li> <li>・詳細情報を理解する。</li> </ul>	
読む活動1 【2時間】	<p>○内容を自分の言葉でまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を確認する。</li> <li>・音読する。</li> <li>・キーワードを取り出す</li> <li>・自分の言葉で口頭サマリーする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QA</li> <li>・状況描写</li> </ul>
読む活動2 【6時間】	<p>○新出単語の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語と日本語が記載されたワードリストで練習する。</li> </ul> <p>○写真・イラストの提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の概要を写真・イラストで提示する。</li> </ul> <p>○内容を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語を繰り返し練習する。</li> <li>・概要→詳細情報の順序で内容を確認する。</li> <li>・教科書に書かれた内容確認だけでなく、生徒の意見を尋ねる質問も行う。</li> <li>・新出文法は意味と形式を簡単に説明する。</li> </ul> <p>○音読する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な手法で音読する。</li> </ul> <p>○口頭サマリーする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを取り出す。</li> <li>・サマリーを書く。</li> <li>・口頭サマリーする。</li> </ul> <p>○対話する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「乙武洋匡」を形容詞で描写する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●状況描写①</li> <li>・QA</li> <li>●状況描写②</li> <li>・意見表明</li> </ul>

	・描写した理由について意見交換する。	●人物描写③ ・意見交換
リサーチ 【2時間】	○国内外の情報を収集・整理する ・スクラップブックを使って集めた情報をタイトルをつけるなどして整理する。 ・更なる情報をインターネットを使って検索する。	・インタビュー
書く活動 【2時間】	○まとめる ・教科書で学習した内容とリサーチで集めた情報を融合させる。 ・パワーポイント資料を作成する。	
発表する 【2時間】	○パワーポイントで提言型の発表をする ・一人一人が発表する。 ・発表後、質疑応答を行う。	●プレゼン④ ・質疑応答

・評価対象外 ●評価対象

## 5 1年次の最終単元における形成的評価及び最終評価

以下に上記の1年次最終単元構想に基づき単元の目標を達成するために必要な下位技能の評価場面/形成的評価（上記の表の①～③）と最終のタスクの評価場面（上記の表の④）とそれぞれの各方法について記す。

### ①状況を表わした絵の描写

タスク：本文の内容が示されたイラスト数枚を自分の言葉で1分以内で説明する。

- 手順：1. 教師が教科書を見せずにパワーポイントでイラストを使って教科書の内容を説明する。  
2. イラストの中に新出単語を載せ、その単語をリピートさせながら練習する。  
3. イラストについて生徒に質問しながら説明を進める。  
4. 生徒にイラストと新出単語やフレーズが記されているパワーポイント資料を配布する。  
5. パワーポイント資料を見ながら自分の言葉で説明できるように練習する。  
6. 黒板にパワーポイント資料を拡大したものを貼り、それを見ながら教師の前で説明する。

- 規準/基準：1. 流暢さ（十分な情報量とスムーズな発話）5点  
2. 正確さ（理解可能な英語で global error の量）3点  
3. 表現方法（使用語彙や構文等の表現の豊かさなど）2点

\* 1年次は流暢さを重視しているためその配点を高くしている。

\* 流暢さが2点以下の場合は正確さおよび表現方法は0点の場合もあり得る。

### ②教科書本文全体の状況描写

タスク：本文全体の内容を自分の言葉で2分以内でサマリーする。

- 手順：1. 新出単語、内容理解および音読終了後に内容を再現するためのキーワードを各自が抽出する。  
2. キーワードをもとに口頭サマリーの練習をする。

\* slow learner は全文を書き出して覚える傾向にあるが、できる限り、頭の中で英文を再現するように指示する。



3. ペアでお互いに口頭サマリーを行い、助言をし合う。
4. 教師の前で口頭サマリーを行う。他の生徒は、次の評価タスクである人物描写についての原稿作成をする。

規準/基準：1. 流暢さ（十分な情報量）5点  
2. 正確さ（理解可能な英語）3点  
3. 表現方法（使用語彙や構文等の表現の豊かさ）2点

### ③人物描写

タスク：2分以内で筆者を形容詞1語で描写した後、その理由について教科書をもとに述べる。

- 手順：1. 本文のサマリーをした後、筆者を形容詞1語で描写するという異なる観点からサマリーを再度行う。
2. 前回と同様に、キーワードを抽出し、できる限り頭の中で英文を作り出すように指示する。
  3. 教師の前でサマリーを行う。他の生徒はCALL教室に行き、リサーチを開始する。

規準/基準：1. 流暢さ（十分な情報量）3点  
2. 正確さ（理解可能な英語）3点  
3. 形容詞による描写とその理由2点  
4. 表現方法（使用語彙や構文等の表現の豊かさ）2点

### ④プレゼンテーション

タスク：学習したことをもとにプロジェクトで紹介した内容を発表する。

- 1 障害者の定義
- 2 障害者を取り巻く状況
- 3 日本の問題点（他国と比較して）
- 4 解決策（行動計画）

- 手順：1. 日本国内外の情報をリサーチする。
2. リサーチした情報をグループ内で共有する。
  3. グループごとにリサーチ情報を教師の前で英語で報告する。教師はいくつかの質問を英語で行う。
  4. パワーポイント資料を作成する。
  5. 3分以上8分以内でプレゼンテーションを行う。
  6. 発表後質疑応答を行う。（ただし、今回は評価対象外）

規準/基準：1. 流暢さ（十分な情報量）3点  
2. 正確さ（理解可能な英語）3点  
3. 表現方法（使用語彙や構文等の表現の豊かさ）2点  
4. 態度（アイコンタクト）1点  
5. パワーポイント資料の見やすさ1点

## 中・高連携の意義と実践

大阪教育大学 加賀田哲也

### 1. 連 携 の 意 義

### 2. 実 践：連 携 の 視 点

#### ① 言語活動

- ・ 4 技能の統合化

- ・ 音読

- ・ Accuracy と Fluency

#### ② 題材を生かす

- ・ 教科書の創造的な活用

- ・ 考えさせる視点

  - 発問の工夫

  - Display questions

  - Referential questions

#### ③ 英語の授業は英語で

## 中・高連携の意義と実践（高校） ～高Ⅱ・英語表現Ⅱの実践から～

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 飯尾力

### 1、教科書を主に用いた授業

#### （1）授業の構成

#### （2）音読とペアワーク

#### （3）表現力の育成へ

### 2、ALT とのティームティーチング

#### （1）ディスカッションを活性化するために

#### （2）ライティング

### Consequences sheet

スクリーンに映し出される写真は下のいずれかの文と関係しています。例のように写真を見て下の文を完成させなさい。

(例)

We would have won if

he / she hadn't missed the shot.



S would(not) have pp if S' had (not) pp~. = 「もし~だったら、…だったろうに」

• The plant wouldn't have died if...

---

• I would have been here sooner if...

---

• You wouldn't have caught a cold if...

---

• I would have believed you if...

---

• It would have tasted better if...

---

## ティームティーチングのモデルダイアログ

### Consumption tax

#### Dialog

- I: **Consumption** tax has already **increased** to 8%, and will increase to 10% in April 2017. Is it a good idea?
- A: Well, it's OK if my salary is increased. But my salary in all my jobs hasn't increased. What do you think?
- I: Consumption tax used to be 3% when I was a junior high school student. I didn't care about the tax at all when purchasing things. Compared to the rate at the time, 8% is too much for me. How about England?
- A: In the U.K., it is called V.A.T. (value added tax), and the tax rate is 20%. However, there is no tax on food (not including snacks), and children's clothes. And some other things. In some countries in Europe, the tax rate is 25%.
- I: I understand that a good reason for increasing the tax is that the Japanese government needs more money to pay **pensions** to **retired** people. **The number of** people receiving a pension is increasing every year.
- A: What are the **downsides** of increasing tax?
- I: In April last year the rate for consumption tax was increased to 8%, and it had a very negative effect on Japan's G.D.P. (**gross domestic** product). People spent less money, so the economy **shrank**.
- A: Yes, that is why the next increase was **postponed** from October 2015 to April 2017.

## 中高連携の意義と実践（中学校）

大阪教育大学附属天王寺中学校 篠崎文哉

### 理 論 編

#### ◆ 「フォーカス・オン・フォーム」アプローチ

Focus on Form Approach の基本手順
①
②
③

☺ 技能の統合

☺ Focused Task

### 実 践 編

◆ 対象：中学2年生

◆ 指導内容：比較級、最上級

活動設計の視点

- ① 活動内容
- ② 技能（listening, speaking, reading, writing など）
- ③ 活動手順
- ④ 学習形態
- ⑤ 予測されるエラー
- ⑥ 教師の英語使用場面

◇ 高校では同じ文法項目を扱う時にどのような活動が考えられるでしょうか。

# Worksheet A



iPad	
サイズ	10 インチ
重量	440g
価格	55,000 円

Nexus (ネクサス)	
サイズ	8 インチ
重量	420g
価格	43,000 円

GALAXY (ギャラクシー)	
サイズ	11 インチ
重量	460g
価格	36,000 円

- ① パートナーがパソコンを探しています。まず、あなたが得た情報を英語でまとめ、相手に伝えてあげましょう。どちらを選ぶでしょうか。
1. iPad is ( ) than Nexus. (サイズについて)
  2. GALAXY is ( ) ( ) iPad. (重量について)
  3. Nexus ( ) ( ) iPad. (価格について)
  4. GALAXY is the ( ) of the three. (サイズについて)
  5. Nexus is ( ) ( ) of the three. (重量について)
  6. GALAXY is ( ) ( ) the three. (価格について)
- ② パートナーにその情報を伝えてください。

パートナーから得た情報をまとめましょう。

パソコンの機種：VAIO、Dynabook、MacBook

本体サイズ (大きい順) 1. ( ) 2. ( ) 3. ( )  
 重量 (重い順) 1. ( ) 2. ( ) 3. ( )  
 価格 (安い順) 1. ( ) 2. ( ) 3. ( )

- ③ パートナーはどれを選びましたか。 ( )
- ④ なぜそれを選んだのかを尋ね、理由を書きとめておきましょう。  
 理由 ( )
- ⑤ 自分ならどれを選びますか。選んだものとその理由を書きましょう。  
 選んだもの ( )  
 理由 ( )

## Worksheet B



VAIO (バイオ)	
サイズ	11 インチ
重量	2.0kg
価格	150,000 円



Dynabook (ダイナブック)	
サイズ	12 インチ
重量	2.5kg
価格	200,000 円



MacBook (マックブック)	
サイズ	10 インチ
重量	1.0kg
価格	80,000 円

① パートナーがパソコンを探しています。まず、あなたが得た情報を英語でまとめ、相手に伝えてあげましょう。どちらを選ぶでしょうか。

1. VAIO is ( ) than MacBook. (サイズについて)
2. Dynabook is ( ) ( ) VAIO. (重量について)
3. VAIO ( ) ( ) ( ) Dynabook. (価格について)
4. Dynabook is the ( ) of the three. (サイズについて)
5. MacBook is ( ) ( ) of the three. (重量について)
6. MacBook is ( ) ( ) ( ) the three. (価格について)

② パートナーにその情報を伝えてください。

パートナーから得た情報をまとめましょう。

タブレットの機種 : iPad、Nexus、GALAXY

本体サイズ (大きい順) 1. ( ) 2. ( ) 3. ( )  
 重量 (重い順) 1. ( ) 2. ( ) 3. ( )  
 価格 (安い順) 1. ( ) 2. ( ) 3. ( )

③ パートナーはどれを選びましたか。 ( )

④ なぜそれを選んだのかを尋ね、理由を書きとめておきましょう。

理由 ( )

⑤ 自分ならどれを選びますか。選んだものとその理由を書きましょう。

選んだもの ( )

理由 ( )



## クラスメート A



### GALAXY

本体サイズ	6 インチ
重量	170g
使用可能時間	8 時間
価格	50,000 円
色	白・黒



### K1

本体サイズ	4 インチ
重量	120g
使用可能時間	10 時間
価格	20,000 円
色	青・緑・白・黒

### あなたは留学生 B のクラスメート A

アメリカからの留学生 B さんは日本に来たばかり。

両親やクラスメートと連絡を取るために携帯電話が必要とのこと。

留学生 B さんのために、日本で売られている携帯電話について少し調べました。留学生 B はまだ日本語が話せないので、英語で説明してあげることになりました。

留学生 B さんも何か情報を持っているようです。簡単な挨拶の後、あなたから、B さんがどのような情報をもっているか尋ねましょう。次に、あなたの情報も伝え、条件に合った携帯電話を勧めてあげてください。

## 留学生 B



iPhone	
本体サイズ	5 インチ
重量	130g
使用可能時間	5 時間
価格	25,000 円
色	ゴールド・シルバー・ グレー

### あなたは留学生 B

あなたはアメリカからの留学生 B です。

両親やクラスメートと連絡を取るために携帯電話が必要です。

流行っている iPhone にしようと思っていましたが、クラスメート A さんが日本で売られている携帯電話について少し調べてきてくれました。

まだ日本語が話せないなので、英語で説明してもらうことになりました。

クラスメートの A さんがあなたの持っている情報について尋ねてきます。持っている情報を伝え、他に何か情報があれば尋ね、条件に合った携帯電話を一台決めましょう。お店があと 10 分 で閉まります。急げ！

あなたの希望		優先順位
本体サイズ	大きめ	2
重量	軽め	5
使用可能時間	長め	4
金額	安め	1
色	黒	3

# メモ用紙

相手から得た情報をまとめましょう。

## GALAXY



## K1



## iPhone



本体サイズ（大きい順）

- 1.
- 2.
- 3.

重量（重い順）

- 1.
- 2.
- 3.

使用可能時間（長い順）

- 1.
- 2.
- 3.

価格（安い順）

- 1.
- 2.
- 3.

留学生 B が選んだ携帯電話

( )

理由 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

# グローバル人材育成のための英語教授法ワークショップ

## — タイムテーブル —

9:15-10:30【ミレニアムホール】

開会挨拶	大阪教育大学長	栗 林 澄 夫
HATO プログラム概要紹介	大阪教育大学教授	吉 田 晴 世
(1) 小・中連携の意義と実践	大阪教育大学教授	吉 田 晴 世
	同 附属池田小学校	宮 本 真希子
	同 附属池田中学校	石 川 剛
	同 附属池田小学校 ALT	サルバ ミシュカ

10:40-11:25【214講義室】

(2) CLIL（内容言語統合型学習）の理論と応用 ー日本とフィンランドの小学校での実践からー	大阪教育大学教授	柏 木 賀津子
	大阪教育大学大学院生	中 村 愛
		森 下 祐美子
		樫 本 洋 子
		サルバ ミシュカ

【215講義室】

(3) 音韻認識から文字認識への指導	神戸山手短期大学准教授	村 上 加代子
--------------------	-------------	---------

11:25-12:10【214講義室】

(4) 小学校におけるモジュールによる授業	追手門学院大学准教授	箱 崎 雄 子
-----------------------	------------	---------

【215講義室】

(5) 音声基軸に基づく文字指導	園田学園女子大学准教授	衣 笠 知 子
------------------	-------------	---------

13:00-14:00【ミレニアムホール】

TEFL プログラム概要紹介	大阪教育大学教授	吉 田 晴 世
(6) Pre サービスと In サービスの意義と実践	奈良教育大学教授	佐 藤 臨太郎
	関西大学第一中・高等学校	永 松 里 和
	大阪教育大学大学院生	山 形 悟 史

14:10-14:55【214講義室】

(7) 中学生のためのフォニックス指導	大阪教育大学非常勤講師	鄭 京 淑
---------------------	-------------	-------

【215講義室】

(8) 教科書で4技能を伸ばす授業 ー生徒の思考を促し、アウトプットを引き出す 授業設計ー	大阪府立高津高等学校	松 下 信 之
---	------------	---------

14:55-15:40【214講義室】

(9) 中学校における授業づくりのポイント	賢明女子学院中・高等学校	稲 岡 章 代
-----------------------	--------------	---------

【215講義室】

(10) 高等学校における授業づくりのポイント	神戸大学附属中等教育学校	竹 下 厚 志
-------------------------	--------------	---------

15:50-16:45【ミレニアムホール】

(11) 中・高連携の意義と実践	大阪教育大学教授	加賀田 哲 也
	同附属高等学校天王寺校舎	飯 尾 力
	同附属天王寺中学校	篠 崎 文 哉
閉会挨拶	大阪教育大学理事・副学長	入 口 豊